

館報

庄内



庄内地区
令和3年11月1日現在人口
世帯数 7,143戸
男 7,357人
女 7,341人
合計 14,698人
発行 庄内地区公民館
(ゆめひろば庄内)
電話 24-1811
FAX 24-1812

第14回 ドリーム庄内 防災展示会、開催される

新型コロナウイルス感染症の第5波がようやく静まりをみせ始めた10月下旬、庄内地区最大の行事「ドリーム庄内」が今年も開催された。コロナ禍のため企画会議の進行は容易ではなかったが、今年には三密回避を前提に展示会形式にて開催することとなった。

防衛省自衛隊・松本広域消防局・松本市社会福祉協議会・松本市消防団第6分団が所持する災害対応等の資料、開成中学校の防災教育の教材、さらに地区内小中学校に協力を頂き各家庭の防災の取り組みを紹介する「わが家の防災」が、庄内地区公民館に展示された。企画内容が最後までまとまらなかったこと、開催の周知が行き届かなかったことで一般利用者に不都合が

生じてしまったといった課題が生じたが、展示会は5日間開かれ、およそ200人が来場した。アンケートでは防災意識の向上に繋がったとの声や、各団体への熱い応援メッセージが寄せられた。

近年、長野県でも災害が起きています。他人事ではないように思えます。消防の方、がんばってください。



松本広域消防局



災害時、人のために尽くして下さる活動に頭が下がります。これからもがんばってください。



防衛省自衛隊



中学生はすごく地域の力になります。たくさん勉強して地域のためにつくってください。



開成中学校



消防団の活躍している姿が身近に見られることが少ないのですが、助けられた人の安心した顔を見るとホッとします。消防団員が増えるといいですね。



松本市消防団 第6分団



災害時の温かい食事は心を温めてくれると思います。素晴らしい活動です。ありがとうございます。



松本市社会福祉協議会



防災資機材の展示



今回の展示にご協力いただいた

自衛隊の方に編集委員がインタビューしました

Q 今回の展示はいつ起きた災害に関するものですか？

A 展示された写真類は台風19号に関するもので、10月12日から11月30日まで活動していたものです。庄内地区の皆さんが水害についてイメージしやすい様に選びました。

Q 展示を通じて最も伝えたいことは何ですか？

A パネル写真を通じて水害の恐ろしさを伝えたいです。ニュースや新聞でも報道されなかった写真があります。時間が経つと過去のこととなり、人々は忘れてしまいます。もう一度、水害の恐ろしさを分かかってほしいと思っています。

Q 地区の皆さんにお伝えしたいことはありますか？

A 災害時において自衛隊がどのような活動をしたかというのを知っていたらいいです。また、水が蛇口から出るとかお風呂に入れるとか、そういう普通の生活がどれだけ幸せかということも考えていただきたいと思います。

「わが家の防災」

各家庭の防災活動の紹介

「わが家の防災」は昨年度のドリーム庄内から始まった企画で、筑摩小・並柳小・開成中の協力を頂き、「災害が起きた時の家族の決めごと」、「最近始めた防災の取り組み」といった各家庭の防災活動を紹介してもらった。

今回はおよそ550件が集まり、どの家庭からも特筆すべき活動事例が記載されていた。全てを館内に掲示することは難しかったため、「自分の町会に取り入れてみたい」、「これを広めていきたい」といった視点で選んだ作品が掲示された。

選考した方からは、「家族で話し合って考えている様子が書面から伝わってきた」、「学校・地域・家庭が連携できる良い取り組みだ」との声が寄せられた。



<災害時の家族の決めごと>

いきさきを連絡するために、かみにかいてドアにはる

必死にたえて身を守り生きのびる。助け合う。声を出す

危険な場所を見に行かない

子供が留守番中に被災したら、近所に助けを求める

お さない
 は しらない
 し やべらない
 も だらない

お
 し
 は
 も

を徹底する

<最近始めたこと>

棚の固定や頭より上にある飾りをやめたり整理する

最近地震が多くなっているので、おきた時の練習(イメージなど)をしている

防災セットの確認(子どもが自分たちで中身を見て入れ替えをしている)

サバイバル術を防災で活用できないか、TV番組を見て楽しんでいます



<災害時に応用のきく日用品>

つなかんがろうそくのかわり(缶に穴をあけてティッシュを刺すと50分火がつく)

新聞紙(保温効果があり防寒具になる。折ればお皿にもなる)

家の中でキャンプごっこ(テントの張り方の練習や快適さを考えられる)

サララップ(食事の際、お皿を汚すことがない)

<これから挑戦したいこと>

ねこのことも考えとく

ぼうさいの本をいっぱいよんでみたい。ひなん場所がどんな所かたしかめに行ってみる

家族での避難訓練を実際にやってみたい

災害を想定して月に1回位は外でBBQやクッキングをしたい

どんな災害がいつ起きても大丈夫な様に、家族みんなで準備して安心して暮らせるようにしたい

弱者を助ける訓練をやってみたいです



も笑顔で子ども達も、笑顔をみせてくれた。明日は、お天気がよく、みんなが楽しめる。感じました。

当日は公園内のチェックポイントに防災や医療、庄内地区に関する問題が出題され、参加者は出題用紙を片手に友達と知恵を絞りながら楽しく公園内を巡っていた。

10月23日、庄内地区子ども会育成会主催「お楽しみウォークラリー」が開催された。例年夏に行われるやまびこ子どもまつりが中止されたため、来年中学に進級する小学校6年生の思い出にと企画されたものだ。コロナ対策のため参加者を絞っての開催とし、地元有志とPR活動を兼ねた消防団が応援スタッフとして参加した。

秋空の下、庄内公園を散策 お楽しみウォークラリー